

令和元年度沖縄振興特別推進交付金事業（県分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	5	沖縄離島住民等交通コスト負担軽減事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(11)-ア			
担当部署名	企画部交通政策課	事業実施(予定)年度	H24 ~ R3 年度	沖縄振興基本方針該当箇所	交通・生活コストの低減		
事業内容	移動しやすい環境の構築を図るため、航路についてはJR在来線並み、航空路については新幹線並みの水準を参考に、移動費負担を軽減する。 また、入域者数の維持による地域の活性化に資するため、小規模離島及び久米島の交流人口の航空運賃の負担を軽減する。						
効果発現年度	■ 当年度 □ 後年度 (年度)						
実施方法	■ 直接実施 ■ 委託 □ 補助 ■ 負担 □ その他 ()						
予算額・執行額【単位:千円】		H29年度	H29年度(繰越)	H30年度	H30年度(繰越)	R1年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	2,089,883	—	2,084,338	—	2,347,285
	(b) 予算現額	2,320,780	—	2,433,923	—	2,667,422	
	(c) 増減額(b-a)	230,897	—	349,585	—	320,137	
	(d) 前年度繰越額	—	—	—	—	—	
	A. 計(b+d)	2,320,780	—	2,433,923	—	2,667,422	
	B. 執行済額	2,303,951	—	2,413,874	—	2,606,074	
	うち交付金充当額	1,843,160	—	1,931,099	—	2,084,542	
	C. 次年度繰越額	0	—	0	—	0	
	執行率(%) (B/A)	99.3%	—	99.2%	—	97.7%	
予算の状況の説明	執行率97.7%により、概ね計画的に執行できた						
活動目標(指標)及び達成状況	R1活動目標(指標)		達成状況				
			H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	
	①離島住民 船賃及び航空運賃の割引率	目標	船賃 約3割~7割 航空賃 約4割	船賃 約3割~7割 航空賃 約4割	船賃 約3割~7割 航空賃 約4割	船賃 約3割~7割 航空賃 約4割	
		実績	船賃 約3割~7割 航空賃 約4割	船賃 約3割~7割 航空賃 約4割	船賃 約3割~7割 航空賃 約4割	船賃 約3割~7割 航空賃 約4割	
②交流人口 航空運賃の割引率	目標	—	—	小規模離島 約3割 久米島町 約1.5割	小規模離島 約3割 久米島町 約1.5割		
	実績	—	—	小規模離島 約3割 久米島町 約1.5割	小規模離島 約3割 久米島町 約1.5割		
達成状況説明	離島住民の船賃及び航空運賃の割引率については、航路においては24航路で約3割~7割低減し、航空路においては10路線で約4割低減したことから目標を達成した。 交流人口の航空運賃の割引については、小規模離島で約3割低減し、久米島町で約1.5割の低減を実施したことから目標を達成した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R1成果目標(指標)		基準値(23年度)	H29年度	H30年度	R1年度	目標値(R3年度)
	①離島住民 負担軽減された離島住民利用者数	目標	—	航空路293千人 航路 439千人	航空路293千人 航路 439千人	航空路366千人 航路 655千人	航空路318千人 航路 655千人
		実績	—	航空路366千人 航路 655千人	航空路397千人 航路 622千人	航空路422千人 航路 612千人	—
	②交流人口 ・小規模離島入域観光客数 ・久米島入域観光客数	目標	—	—	小規模離島入域観光客数 49,200人 久米島入域観光客数 120,000人	小規模離島入域観光客数 52,000人 久米島入域観光客数 140,000人	—
実績		—	—	小規模離島入域観光客数 52,051人 久米島入域観光客数 103,309人	小規模離島入域観光客数 71,246人 久米島入域観光客数 100,716人	—	
進捗状況説明	負担軽減された離島住民利用者数について、航空路においては目標を達成した。航路においては台風の影響により目標の達成ができなかった。 交流人口において、小規模離島入域観光客数については71,246人で目標を達成した。久米島入域観光客数については台風の影響により目標の達成ができなかった。						

推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)		改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	①航路については、現在、離島住民のみを対象としているが、地域からは、離島住民以外の交流人口も対象者として拡充を求める声がある。	①交流人口への拡充については、地域の事業も勘案しながら、安定的かつ継続的な事業実施の観点の下、スキームを検討していく。
	②航空路については、対象となる路線の運賃が同額の場合に事業の適用となるため、運賃の変更等や新規航空路の参入により価格差が生じる路線が想定されるなど、常に運賃などを確認する必要がある。	②航空路については、運賃の設定や新規参入等の事業環境の変化を注視し、市場や利用者の立場にも配慮しつつ、県の施策として適正に事業を実施していく。
	③小規模離島の航空路においては、例外的に離島住民以外の交流人口も対象としており、久米島においては、平成27年度から平成29年度までの実証実験を踏まえ、平成30年度から本格実施することとなったが、地元からは割引率の拡充を求める声がある。	③割引率の拡充については、本事業が安定的かつ継続的に実施できる事業環境を確保しつつ、各航路、航空路の課題や公平性等を考慮して検討する必要がある。
今後の取り組み方針		
①交流人口への拡充については、地元の声も勘案しながら、安定的かつ継続的な事業実施の観点の下、スキームのあり方について検討していく。		
②航空路については、各路線の運賃などの事業環境の変化について引き続き注視しつつ、政策目的に沿うように事業を実施していく。		
③割引率の拡充については、本事業が安定的かつ継続的に実施できる事業環境を確保しつつ、各航路、航空路の課題や公平性等を考慮して検討する。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)																																																																																																																																																																										
総事業費	交付対象事業費	うち交付金充当額	うち県負担金	うち市町村負担金	その他	交付対象外経費																																																																																																																																																																				
2,606,073	2,606,073	2,084,542	521,531	0	0	0																																																																																																																																																																				
<table border="1"> <tr> <td rowspan="17"> 沖縄県 交付対象事業費 2,606,073 千円 </td> <td>負担金 2,579,120 千円</td> <td>4航空事業者 2,268,730 千円</td> <td colspan="2"> <table border="1"> <tr><td>1</td><td>日本トランスオーシャン航空</td><td>1,072,293</td></tr> <tr><td>2</td><td>琉球エアークommuter</td><td>949,861</td></tr> <tr><td>3</td><td>全日本空輸</td><td>246,094</td></tr> <tr><td>4</td><td>ソラシドエア</td><td>482</td></tr> <tr><td>計</td><td></td><td>2,268,730</td></tr> </table> </td> <td>航空運賃低減に係る負担金</td> </tr> <tr> <td></td> <td>17航路事業者 293,728 千円</td> <td colspan="2"> <table border="1"> <tr><td>1</td><td>伊平屋村</td><td>22,179</td></tr> <tr><td>2</td><td>伊是名村</td><td>26,458</td></tr> <tr><td>3</td><td>伊江村</td><td>71,155</td></tr> <tr><td>4</td><td>水納海運</td><td>2,195</td></tr> <tr><td>5</td><td>神谷観光</td><td>9,131</td></tr> <tr><td>6</td><td>久高海運</td><td>7,758</td></tr> <tr><td>7</td><td>渡嘉敷村</td><td>19,803</td></tr> <tr><td>8</td><td>座間味村</td><td>20,458</td></tr> <tr><td>9</td><td>粟国村</td><td>19,062</td></tr> <tr><td>10</td><td>久米商船</td><td>15,868</td></tr> <tr><td>11</td><td>大東海運</td><td>167</td></tr> <tr><td>12</td><td>大神海運</td><td>204</td></tr> <tr><td>13</td><td>多良間海運</td><td>764</td></tr> <tr><td>14</td><td>八重山観光フェリー</td><td>43,728</td></tr> <tr><td>15</td><td>安栄観光</td><td>33,521</td></tr> <tr><td>16</td><td>船浮海運</td><td>1,135</td></tr> <tr><td>17</td><td>福山海運</td><td>142</td></tr> <tr><td>計</td><td></td><td>293,728</td></tr> </table> </td> <td>航路運賃低減に係る負担金</td> </tr> <tr> <td></td> <td>8市町村 16,662 千円</td> <td colspan="2"> <table border="1"> <tr><td>1</td><td>南大東村</td><td>158</td></tr> <tr><td>2</td><td>北大東村</td><td>22</td></tr> <tr><td>3</td><td>久米島町</td><td>3,066</td></tr> <tr><td>4</td><td>宮古島市</td><td>8,796</td></tr> <tr><td>5</td><td>多良間村</td><td>160</td></tr> <tr><td>6</td><td>石垣市</td><td>3,432</td></tr> <tr><td>7</td><td>竹富町</td><td>76</td></tr> <tr><td>8</td><td>与那国町</td><td>952</td></tr> <tr><td>計</td><td></td><td>16,662</td></tr> </table> </td> <td>航空運賃低減の還付に係る負担金</td> </tr> <tr> <td></td> <td>委託料 24,233 千円</td> <td>4市町村 24,233 千円</td> <td colspan="2"> <table border="1"> <tr><td>1</td><td>石垣市</td><td>3,562</td></tr> <tr><td>2</td><td>宮古島市</td><td>1,790</td></tr> <tr><td>3</td><td>久米島町</td><td>1,832</td></tr> <tr><td>4</td><td>与那国町</td><td>1,132</td></tr> <tr><td>5</td><td>株式会社カルティベイト</td><td>15,917</td></tr> <tr><td>計</td><td></td><td>24,233</td></tr> </table> </td> <td>航空運賃低減の還付に係る事務の委託に要する費用</td> </tr> <tr> <td></td> <td>事務費 2,720 千円</td> <td>報酬 1,492 千円</td> <td colspan="2"></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>共済費 244 千円</td> <td colspan="2"></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>旅費 801 千円</td> <td colspan="2"></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>需用費 183 千円</td> <td colspan="2"></td> <td></td> <td>経済波及効果等調査業務委託</td> </tr> </table>							沖縄県 交付対象事業費 2,606,073 千円	負担金 2,579,120 千円	4航空事業者 2,268,730 千円	<table border="1"> <tr><td>1</td><td>日本トランスオーシャン航空</td><td>1,072,293</td></tr> <tr><td>2</td><td>琉球エアークommuter</td><td>949,861</td></tr> <tr><td>3</td><td>全日本空輸</td><td>246,094</td></tr> <tr><td>4</td><td>ソラシドエア</td><td>482</td></tr> <tr><td>計</td><td></td><td>2,268,730</td></tr> </table>		1	日本トランスオーシャン航空	1,072,293	2	琉球エアークommuter	949,861	3	全日本空輸	246,094	4	ソラシドエア	482	計		2,268,730	航空運賃低減に係る負担金		17航路事業者 293,728 千円	<table border="1"> <tr><td>1</td><td>伊平屋村</td><td>22,179</td></tr> <tr><td>2</td><td>伊是名村</td><td>26,458</td></tr> <tr><td>3</td><td>伊江村</td><td>71,155</td></tr> <tr><td>4</td><td>水納海運</td><td>2,195</td></tr> <tr><td>5</td><td>神谷観光</td><td>9,131</td></tr> <tr><td>6</td><td>久高海運</td><td>7,758</td></tr> <tr><td>7</td><td>渡嘉敷村</td><td>19,803</td></tr> <tr><td>8</td><td>座間味村</td><td>20,458</td></tr> <tr><td>9</td><td>粟国村</td><td>19,062</td></tr> <tr><td>10</td><td>久米商船</td><td>15,868</td></tr> <tr><td>11</td><td>大東海運</td><td>167</td></tr> <tr><td>12</td><td>大神海運</td><td>204</td></tr> <tr><td>13</td><td>多良間海運</td><td>764</td></tr> <tr><td>14</td><td>八重山観光フェリー</td><td>43,728</td></tr> <tr><td>15</td><td>安栄観光</td><td>33,521</td></tr> <tr><td>16</td><td>船浮海運</td><td>1,135</td></tr> <tr><td>17</td><td>福山海運</td><td>142</td></tr> <tr><td>計</td><td></td><td>293,728</td></tr> </table>		1	伊平屋村	22,179	2	伊是名村	26,458	3	伊江村	71,155	4	水納海運	2,195	5	神谷観光	9,131	6	久高海運	7,758	7	渡嘉敷村	19,803	8	座間味村	20,458	9	粟国村	19,062	10	久米商船	15,868	11	大東海運	167	12	大神海運	204	13	多良間海運	764	14	八重山観光フェリー	43,728	15	安栄観光	33,521	16	船浮海運	1,135	17	福山海運	142	計		293,728	航路運賃低減に係る負担金		8市町村 16,662 千円	<table border="1"> <tr><td>1</td><td>南大東村</td><td>158</td></tr> <tr><td>2</td><td>北大東村</td><td>22</td></tr> <tr><td>3</td><td>久米島町</td><td>3,066</td></tr> <tr><td>4</td><td>宮古島市</td><td>8,796</td></tr> <tr><td>5</td><td>多良間村</td><td>160</td></tr> <tr><td>6</td><td>石垣市</td><td>3,432</td></tr> <tr><td>7</td><td>竹富町</td><td>76</td></tr> <tr><td>8</td><td>与那国町</td><td>952</td></tr> <tr><td>計</td><td></td><td>16,662</td></tr> </table>		1	南大東村	158	2	北大東村	22	3	久米島町	3,066	4	宮古島市	8,796	5	多良間村	160	6	石垣市	3,432	7	竹富町	76	8	与那国町	952	計		16,662	航空運賃低減の還付に係る負担金		委託料 24,233 千円	4市町村 24,233 千円	<table border="1"> <tr><td>1</td><td>石垣市</td><td>3,562</td></tr> <tr><td>2</td><td>宮古島市</td><td>1,790</td></tr> <tr><td>3</td><td>久米島町</td><td>1,832</td></tr> <tr><td>4</td><td>与那国町</td><td>1,132</td></tr> <tr><td>5</td><td>株式会社カルティベイト</td><td>15,917</td></tr> <tr><td>計</td><td></td><td>24,233</td></tr> </table>		1	石垣市	3,562	2	宮古島市	1,790	3	久米島町	1,832	4	与那国町	1,132	5	株式会社カルティベイト	15,917	計		24,233	航空運賃低減の還付に係る事務の委託に要する費用		事務費 2,720 千円	報酬 1,492 千円							共済費 244 千円							旅費 801 千円							需用費 183 千円				経済波及効果等調査業務委託
沖縄県 交付対象事業費 2,606,073 千円	負担金 2,579,120 千円	4航空事業者 2,268,730 千円	<table border="1"> <tr><td>1</td><td>日本トランスオーシャン航空</td><td>1,072,293</td></tr> <tr><td>2</td><td>琉球エアークommuter</td><td>949,861</td></tr> <tr><td>3</td><td>全日本空輸</td><td>246,094</td></tr> <tr><td>4</td><td>ソラシドエア</td><td>482</td></tr> <tr><td>計</td><td></td><td>2,268,730</td></tr> </table>		1	日本トランスオーシャン航空		1,072,293	2	琉球エアークommuter	949,861	3	全日本空輸	246,094	4	ソラシドエア	482	計		2,268,730	航空運賃低減に係る負担金																																																																																																																																																					
	1	日本トランスオーシャン航空	1,072,293																																																																																																																																																																							
	2	琉球エアークommuter	949,861																																																																																																																																																																							
	3	全日本空輸	246,094																																																																																																																																																																							
	4	ソラシドエア	482																																																																																																																																																																							
	計		2,268,730																																																																																																																																																																							
		17航路事業者 293,728 千円	<table border="1"> <tr><td>1</td><td>伊平屋村</td><td>22,179</td></tr> <tr><td>2</td><td>伊是名村</td><td>26,458</td></tr> <tr><td>3</td><td>伊江村</td><td>71,155</td></tr> <tr><td>4</td><td>水納海運</td><td>2,195</td></tr> <tr><td>5</td><td>神谷観光</td><td>9,131</td></tr> <tr><td>6</td><td>久高海運</td><td>7,758</td></tr> <tr><td>7</td><td>渡嘉敷村</td><td>19,803</td></tr> <tr><td>8</td><td>座間味村</td><td>20,458</td></tr> <tr><td>9</td><td>粟国村</td><td>19,062</td></tr> <tr><td>10</td><td>久米商船</td><td>15,868</td></tr> <tr><td>11</td><td>大東海運</td><td>167</td></tr> <tr><td>12</td><td>大神海運</td><td>204</td></tr> <tr><td>13</td><td>多良間海運</td><td>764</td></tr> <tr><td>14</td><td>八重山観光フェリー</td><td>43,728</td></tr> <tr><td>15</td><td>安栄観光</td><td>33,521</td></tr> <tr><td>16</td><td>船浮海運</td><td>1,135</td></tr> <tr><td>17</td><td>福山海運</td><td>142</td></tr> <tr><td>計</td><td></td><td>293,728</td></tr> </table>		1	伊平屋村		22,179	2	伊是名村	26,458	3	伊江村	71,155	4	水納海運	2,195	5	神谷観光	9,131	6	久高海運	7,758	7	渡嘉敷村	19,803	8	座間味村	20,458	9	粟国村	19,062	10	久米商船	15,868	11	大東海運	167	12	大神海運	204	13	多良間海運	764	14	八重山観光フェリー	43,728	15	安栄観光	33,521	16	船浮海運	1,135	17	福山海運	142	計		293,728	航路運賃低減に係る負担金																																																																																																														
	1	伊平屋村	22,179																																																																																																																																																																							
	2	伊是名村	26,458																																																																																																																																																																							
	3	伊江村	71,155																																																																																																																																																																							
	4	水納海運	2,195																																																																																																																																																																							
	5	神谷観光	9,131																																																																																																																																																																							
	6	久高海運	7,758																																																																																																																																																																							
	7	渡嘉敷村	19,803																																																																																																																																																																							
	8	座間味村	20,458																																																																																																																																																																							
	9	粟国村	19,062																																																																																																																																																																							
	10	久米商船	15,868																																																																																																																																																																							
11	大東海運	167																																																																																																																																																																								
12	大神海運	204																																																																																																																																																																								
13	多良間海運	764																																																																																																																																																																								
14	八重山観光フェリー	43,728																																																																																																																																																																								
15	安栄観光	33,521																																																																																																																																																																								
16	船浮海運	1,135																																																																																																																																																																								
17	福山海運	142																																																																																																																																																																								
計		293,728																																																																																																																																																																								
	8市町村 16,662 千円	<table border="1"> <tr><td>1</td><td>南大東村</td><td>158</td></tr> <tr><td>2</td><td>北大東村</td><td>22</td></tr> <tr><td>3</td><td>久米島町</td><td>3,066</td></tr> <tr><td>4</td><td>宮古島市</td><td>8,796</td></tr> <tr><td>5</td><td>多良間村</td><td>160</td></tr> <tr><td>6</td><td>石垣市</td><td>3,432</td></tr> <tr><td>7</td><td>竹富町</td><td>76</td></tr> <tr><td>8</td><td>与那国町</td><td>952</td></tr> <tr><td>計</td><td></td><td>16,662</td></tr> </table>		1	南大東村	158	2	北大東村	22	3	久米島町	3,066	4	宮古島市	8,796	5	多良間村	160	6	石垣市	3,432	7	竹富町	76	8	与那国町	952	計		16,662	航空運賃低減の還付に係る負担金																																																																																																																																											
1	南大東村	158																																																																																																																																																																								
2	北大東村	22																																																																																																																																																																								
3	久米島町	3,066																																																																																																																																																																								
4	宮古島市	8,796																																																																																																																																																																								
5	多良間村	160																																																																																																																																																																								
6	石垣市	3,432																																																																																																																																																																								
7	竹富町	76																																																																																																																																																																								
8	与那国町	952																																																																																																																																																																								
計		16,662																																																																																																																																																																								
	委託料 24,233 千円	4市町村 24,233 千円	<table border="1"> <tr><td>1</td><td>石垣市</td><td>3,562</td></tr> <tr><td>2</td><td>宮古島市</td><td>1,790</td></tr> <tr><td>3</td><td>久米島町</td><td>1,832</td></tr> <tr><td>4</td><td>与那国町</td><td>1,132</td></tr> <tr><td>5</td><td>株式会社カルティベイト</td><td>15,917</td></tr> <tr><td>計</td><td></td><td>24,233</td></tr> </table>		1	石垣市	3,562	2	宮古島市	1,790	3	久米島町	1,832	4	与那国町	1,132	5	株式会社カルティベイト	15,917	計		24,233	航空運賃低減の還付に係る事務の委託に要する費用																																																																																																																																																			
1	石垣市	3,562																																																																																																																																																																								
2	宮古島市	1,790																																																																																																																																																																								
3	久米島町	1,832																																																																																																																																																																								
4	与那国町	1,132																																																																																																																																																																								
5	株式会社カルティベイト	15,917																																																																																																																																																																								
計		24,233																																																																																																																																																																								
	事務費 2,720 千円	報酬 1,492 千円																																																																																																																																																																								
		共済費 244 千円																																																																																																																																																																								
		旅費 801 千円																																																																																																																																																																								
		需用費 183 千円				経済波及効果等調査業務委託																																																																																																																																																																				

評価	点検項目	評価に関する説明
○	支出先の選定方法は妥当か。	○負担金については、事業者に対し、運賃低減にかかる減収補填を適正に交付したほか、市町村に対し、航空運賃の還付に要する分を適正に交付した。
○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○委託料については、航空運賃の還付にかかる事務は当該市町村に委託することで選定方法は妥当であった。
○	受益者との負担関係は妥当であるか。	また、経済波及効果等調査業務については、プロポーザル方式により委託することで選定方法は妥当であった。
○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

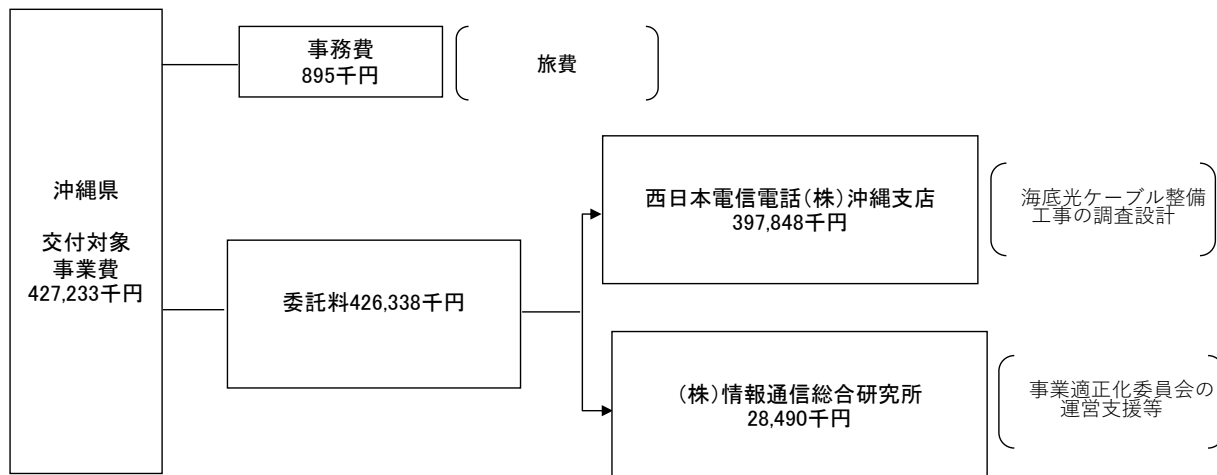
令和元年度沖縄振興特別推進交付金事業（県分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	18	大東地区情報通信基盤整備推進事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(11)-イ			
担当部課名	企画部 総合情報政策課	事業実施(予定)年度	R1 ~ R3 年度	沖縄振興基本方針該当箇所	生活環境基盤の整備及び教育・医療・福祉における住民サービスの向上 Ⅲ-6、Ⅲ-9、Ⅲ-11-(2)			
事業内容	大東地区において、高度な情報通信技術の利活用環境の形成を図るため、沖縄本島と北大東島を結ぶ高速大容量の中継伝送路の整備に必要な情報通信基盤を構築する。 今年度は調査設計を行う。							
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(R4年度)							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ()							
予算額・執行額 【単位:千円】			H29年度	H29年度(繰越)	H30年度	H30年度(繰越)	R1年度	
	予算の状況	(a)当初予算額						469,464
		(b)予算現額						469,464
		(c)増減額(b-a)	0	0	0	0	0	0
		(d)前年度繰越額						0
		A.計(b+d)	0	0	0	0	0	469,464
	B.執行済額							427,233
	うち交付金充当額							341,786
	C.次年度繰越額				0	0	0	0
	執行率(%) (B/A)		#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	91.0%
予算の状況の説明		・沖縄本島と北大東島を結ぶ海底光ケーブルを整備するため、R1年度から新規事業として、整備工事のための調査設計業務及び事業適正化委員会運営に係る支援業務の委託料と事務費を計上した。 ・執行率は91.0%であり、調査設計の入札残により委託料の不用が生じた。						
活動目標(指標)及び達成状況	R1活動目標(指標)		達成状況					
			H28年度	H29年度	H30年度	R1年度		
	海底光ケーブル整備工事に係る調査設計の実施	目標	-	-	-	調査設計の実施		
		実績	-	-	-	調査設計の完了		
達成状況説明	・令和元年度は、企画提案方式によって西日本電信電話株式会社沖縄支店を本事業の事業者として選定の上、同事業者において海底光ケーブル敷設に係る調査設計(地質調査や測量業務等)を実施し、年度内に完了した。							
成果目標(指標)及び進捗状況	R1成果目標(指標)		基準値(〇〇年度)	H29年度	H30年度	R1年度	目標値(R4年度)	
	海底光ケーブル整備工事に係る調査設計の完了	目標	-	-	-	調査設計を完了する	-	
		実績	-	-	-	調査設計を完了した	-	
	【R4成果目標】北大東島における通信サービスの高速化		目標	-	-	-	1Gbps	
	【R4成果目標】南北大東島における海底光ケーブルの障害発生によるLTE通信の切断回数		目標	-	-	-	0回	
	【R4成果目標】北大東島における波浪等の気象条件による通信の切断回数		目標	-	-	-	0回	
進捗状況説明	・令和元年度は海底光ケーブル敷設に係る調査設計を完了し、成果目標を達成した。							

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>海底光ケーブルの整備は、技術的項目が多種に及ぶこと、その難易度が高く、また一般的な公共工事と比べて特殊性を有している。</p>	<p>各分野の専門家で構成する事業適正化委員会における技術的及び経済的妥当性の検証を踏まえ、適切に事業を推進する必要がある。</p>
今後の取り組み方針		
<p>事業適正化委員会の意見も踏まえ、令和2年度において、海底光ケーブル整備工事の進捗率41.9%を目標に整備を進めていく。</p>		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	うち交付金充当額	うち県負担金	うち市町村負担金	その他	交付対象外経費
427,233	427,233	341,786	85,447	0	0	0



資金の 使途の 流れ、 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<p>○委託事業者は、業務の内容によって企画提案プロポーザル及び一般競争入札を選定したことから、妥当であった。</p> <p>○費目・使途については、業務報告書等を検査し、適正である事を確認した。</p>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

令和元年度沖縄振興特別推進交付金事業（県分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	29	離島廃棄物適正処理促進事業	沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-3-(11)-イ			
担当部課名	環境部環境整備課	事業実施 (予定)年度	H29 ~ R3 年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	生活環境基盤の整備及び教育・医療・福祉における住民サービスの向上 Ⅲ-10-1		
事業内容	<p>①離島廃棄物適正処理促進対策 離島市町村の廃棄物処理について、処理経費の削減及びリサイクル率の向上を図るため、運搬方法の改善策や必要機器の整備等の支援を実施する。R1年度は、年3回実施する検討委員会において、支援を行う市町村、モデル地域を選定し、モデル地域における実証試験の内容を検討する。</p> <p>②離島一般廃棄物焼却灰等再資源化対策 最終処分場の延命化を図るため、離島の一般廃棄物焼却施設から排出される焼却灰は再資源化する。R1年度は、年3回実施する検討委員会において、離島焼却灰の再資源化を実現するため、県内展開に向けた条件整理の中で、市場調査や民間資本の活用可能性を検討し、今後の再資源化システムを構想を示す。</p>						
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(令和8年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】		H29年度	H29年度(繰越)	H30年度	H30年度(繰越)	R1年度	
	予算 の 状 況	(a) 当初予算額	48,835		35,601		32,200
		(b) 予算現額	53,966		35,601		32,200
		(c) 増減額(b-a)	5,131	0	0	0	0
		(d) 前年度繰越額					
		A. 計(b+d)	53,966	0	35,601	0	32,200
	B. 執行済額		48,868		33,179		30,307
	うち交付金充当額		39,094		26,543		24,246
	C. 次年度繰越額				0	0	0
	執行率(%) (B/A)		90.6%	#DIV/0!	93.2%	#DIV/0!	94.1%
予算の状況の説明		・執行率は94.1%であり、主に普通旅費(896千円)、使用料及び賃借料(128千円)等の節減、委託料の委託業務精算による不用額(824千円)の発生によるものである。					
活動目標 (指標) 及び達成状況	R1活動目標(指標)		達成状況				
			H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	
	①離島廃棄物適正処理促進対策 支援を行う市町村と実証試験を行うモデル地域を選定する	目標			検討委員会設置、 処理方法の検討	モデル地域の選定	
		実績			検討委員会設置、 処理方法の検討	モデル地域の選定	
	②離島一般廃棄物焼却灰等再資源化対策 県内で焼却灰再資源化システムの構築に向けた構想を策定する	目標			再資源化手法提示	構想の策定	
		実績			再資源化手法提示	構想の策定	
達成状況説明	・市町村からの要望によってあげられたモデル事業候補について、検討委員会で事業効果、他地域への展開、緊急性等を考慮・検討した。 ・焼却灰セメント資源化に向けて、条件整理や離島及び本島市町村におけるフィージビリティスタディ(FS)などを行い、検討委員会において再資源化実施体制の構築や輸送の効率化、運用費の抑制等の必要事項を検討した。						
成果目標 (指標) 及び進捗状況	R1成果目標(指標)		基準値 (〇〇年度)	H29年度	H30年度	R1年度	目標値 (〇〇年度)
	①離島廃棄物適正処理促進対策 支援を行う市町村、モデル地域を選定し、モデル地域における実証試験の内容を検討	目標	—			モデル地域の選定	—
		実績	—			モデル地域の選定	—
	【H30成果目標】		目標	—	検討実施		—
	①離島廃棄物適正処理促進対策 離島廃棄物適正処理促進対策の検討実施	目標	—		検討実施		—
		実績	—		検討を実施した		—
①離島廃棄物適正処理促進対策 【R8成果目標】 ごみ処理経費の削減あるいはリサイクル率の向上	目標					R2年度の実証試験を踏まえ設定	

成果目標 (指標) 及び進捗状況	②離島一般廃棄物焼却灰等再資源化対策 県内で焼却灰再資源化システムの構築に向けた構想を策定する	目標	—			構想の策定	—
		実績	—			構想の策定	—
	【H30成果目標】 ②離島一般廃棄物焼却灰等再資源化対策 離島一般廃棄物焼却灰等再資源化対策の完了	目標	—		対策の完了		—
		実績	—		未完了		—
	②離島一般廃棄物焼却灰等再資源化対策 【R5成果目標】 最終処分量の減少	目標					H30以降の調査分析結果を踏まえて設定
進捗状況説明	<ul style="list-style-type: none"> ・実証試験を実施する3町村を選定し、実証試験内容を決定した。 ・沖縄県内における焼却灰等再資源化構想を策定したが、構想に沿って実施するためには新たに検討しなければならない課題が明らかとなった。 						

R1-No.29

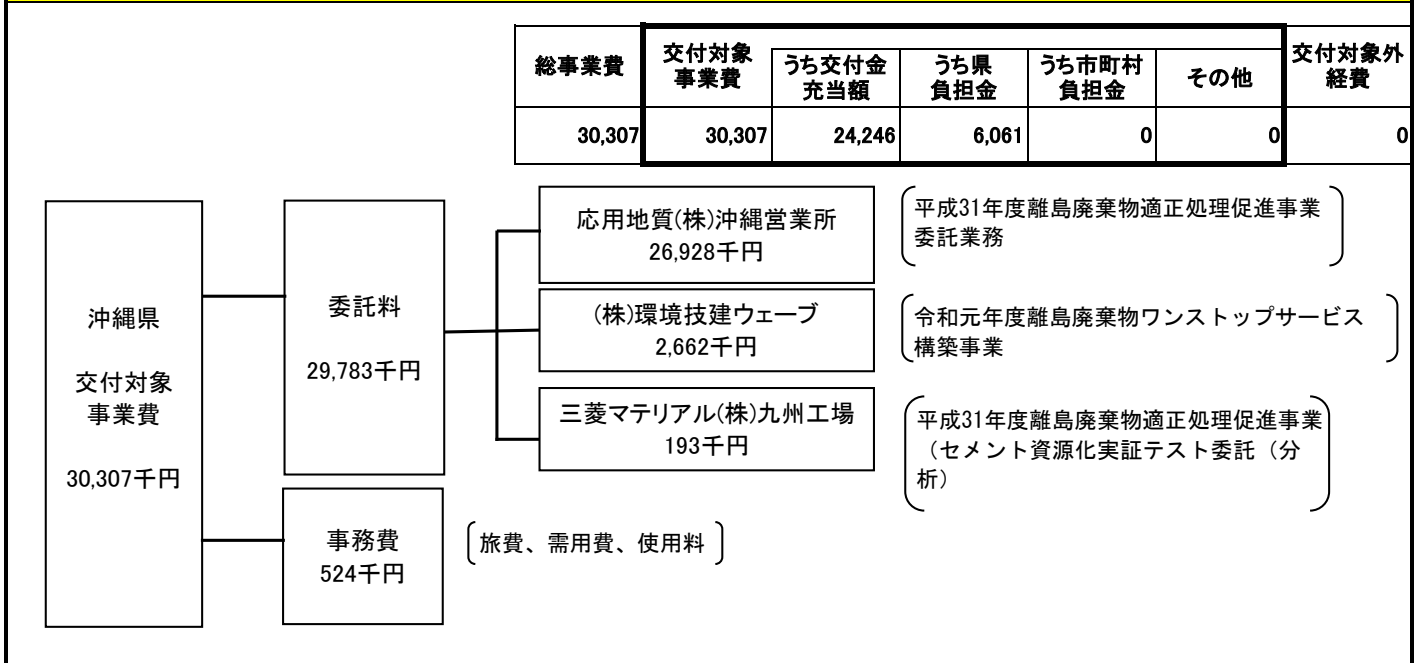
	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<p>①実証試験により、廃棄物の島内処理が離島の人員不足、技術不足などの解消に繋がる効率的・効果的な方法かどうか、検証する必要がある。</p> <p>②島外処理を行わざるを得ない廃棄物の輸送について、沖縄本島側の廃棄物収集運搬事業者も人員不足の理由から、請け負うことが難しい現状がある。</p>	<p>①モデル事業の実証試験による島内処理の効果の検証と併せて、今後、離島の人員不足を加味した機器の取扱い、作業方法を提案する必要がある。</p> <p>②当該処理については、沖縄本島側の廃棄物処理事業者の実情を把握した上で、排出方法を再度検証する必要がある。</p>

今後の取り組み方針

- ①実証試験の結果を踏まえ効率的・効果的な機器の日常点検や作業方法などを整理し、これを離島市町村に展開させるため、検討委員会において離島市町村に情報共有を行う。
- ②離島市町村の廃棄物処理を支援する「ワンストップサービス窓口」の構築に向け、廃棄物処理業者の実情を把握した上で、排出方法を再度検証し、具体的なメニューを定める。

資金の流れ

(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の流	評価	点検項目	評価に関する説明
金の流れ、費用	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業は入札参加資格条件を示した上で一般競争入札により選定しており、妥当であったと考えている。 ○費用・使途については事業目的達成の観点から必要なものか等について、額の確定時に支出等に関する書類及び事業報告書等を検査し、適正であることを確認した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

令和元年度沖縄振興特別推進交付金事業（県分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	58	県立病院医師派遣補助事業	沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-3-(11)-イ			
担当部課名	保健医療部	保健医療総務課	事業実施 (予定)年度	H29 ~ R3 年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	生活環境基盤の整備及び教育・医療・福祉における住民のサービスの向上 Ⅲ-4	
事業内容	離島・へき地における医療を確保するため、沖縄県病院事業局が実施する医師派遣事業等を支援する ①無医地区医師派遣事業 遠隔にあることから医師の確保が困難な診療所に対して、沖縄県病院事業局が行う医師の継続的配置を行うための費用を補助する。 ②専門医派遣事業 専門医の不足する離島・へき地の中核病院へ全国の民間医療機関等から専門医等の派遣を行うため、沖縄県病院事業局が運営する3ヶ所の離島・へき地中核病院と派遣元病院等との労働者派遣法に基づく派遣契約に対する費用に対して補助する。						
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)						
実施方法	□直接実施 □委託 ■補助 □負担 □その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】		H29年度	H29年度(繰越)	H30年度	H30年度(繰越)	R1年度	
	予算 の 状況	(a) 当初予算額	523,165		542,540		577,570
		(b) 予算現額	492,560		473,209		569,964
		(c) 増減額(b-a)	▲ 30,605	0	▲ 69,331	0	▲ 7,606
		(d) 前年度繰越額					
		A. 計(b+d)	492,560	0	473,209	0	569,964
	B. 執行済額		474,359		462,604		520,264
	うち交付金充当額		379,487		370,083		416,211
	C. 次年度繰越額		0		0	0	0
	執行率(%) (B/A)		96.3%	#DIV/0!	97.8%	#DIV/0!	91.3%
予算の状況の説明		派遣元の都合により当初計画どおりの派遣期間が確保できなかった等の理由により予算の不用が生じた					
活動目標 (指標) 及び達成状況	R1活動目標(指標)		達成状況				
			H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	
	①無医地区医師派遣事業 特に医師確保が困難な県立離島診療所における医師確保数	目標	9名	9名	9名	9名	
		実績	9名	9名	9名	9名	
	②専門医派遣事業 県立離島・へき地病院における確保医師数	目標	15名	12名	17名	19名	
実績		13名	17名	16名	19名		
達成状況説明	以下の状況により目標を達成した。 ①無医地区医師派遣事業 県立離島診療所への医師派遣により、無医地区における医療提供体制の確保が図れた。 ②専門医派遣事業 県立離島へき地病院に対する専門医 19名の派遣により、離島・へき地における医療提供体制の確保が図れた。						
成果目標 (指標) 及び進捗状況	R1成果目標(指標)		基準値 (〇〇年度)	H29年度	H30年度	R1年度	目標値 (〇〇年度)
	無医地区医師派遣事業 縁による急患対応が困難等、遠隔にあることから医師の確保が困難な県立離島診療所9ヶ所において休診がない状態	目標	-	-	9箇所において休診なし	9箇所	-
		実績	-	-	9箇所において休診なし	9箇所	-
	専門医派遣事業 離島・へき地の中核病院の専門医の不足する15診療科において休診がない状態	目標	-	-	11診療科において休診なし	14診療科	-
		実績	-	-	11診療科において休診なし	17診療科	-
進捗状況説明	県立9離島診療所に、計画とおり9名の医師を派遣し、対象地域の医療提供体制の確保を図った。 また、北部、宮古、八重山病院に対する民間医療機関等からの専門医等の派遣について、計画とおり名の専門医を派遣し、離島・へき地における医療提供体制の確保を図った。						

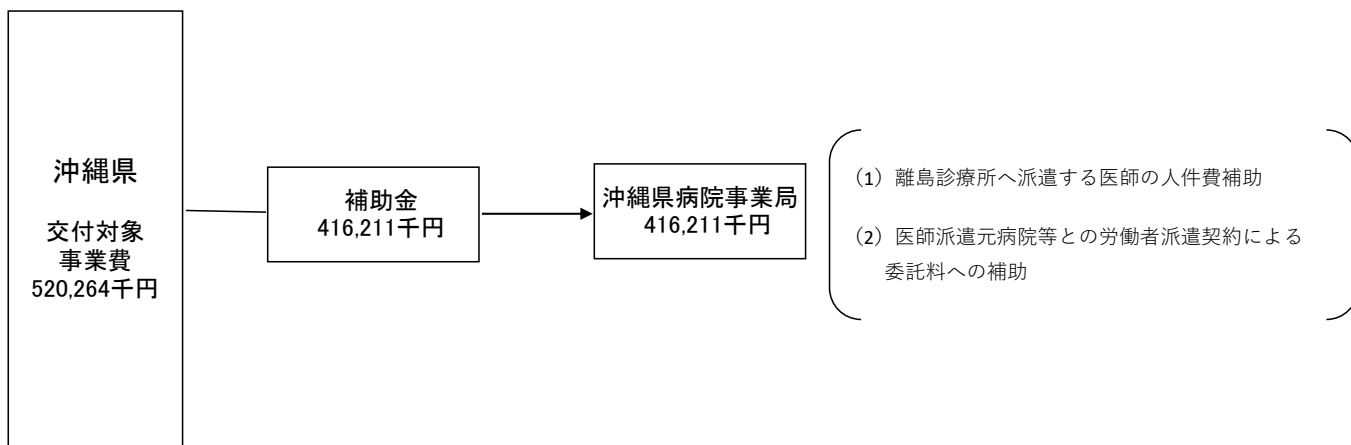
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> 改正医療法に基づき策定した医師確保計画における各医療圏及び離島・へき地診療所の医師確保の方針及び目標医師数並びに目標医師数に向けた施策を踏まえ、事業を実施していく。 働き方改革関連法による労働基準法の改正により、医療従事者についても令和6年度から時間外労働上限規制が適用される。 	<ul style="list-style-type: none"> 医師確保計画を踏まえ、県立北部、宮古及び八重山病院の各専門診療科並びに9へき地診療所における医療需要の変化及び時間外労働上限規制の導入により必要となる医師数について検討を行う必要がある。

今後の取り組み方針

・医師確保計画を踏まえ、県立北部、宮古及び八重山病院の各専門診療科並びに9へき地診療所における医療需要の変化及び時間外労働上限規制の導入により必要となる医師数及び必要医師数確保に向けた施策について、病院事業局等の関係者と議論を行う。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	うち交付金充当額	うち県負担金	うち市町村負担金	その他	交付対象外経費
520,264	520,264	416,211	104,053	0	0	0



資金の 使途の 流れ、 費目 ・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○補助金交付先は、県立診療所及び離島へき地中核病院の運営母体である沖縄県病院事業局であり、目的、費用、使途について適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

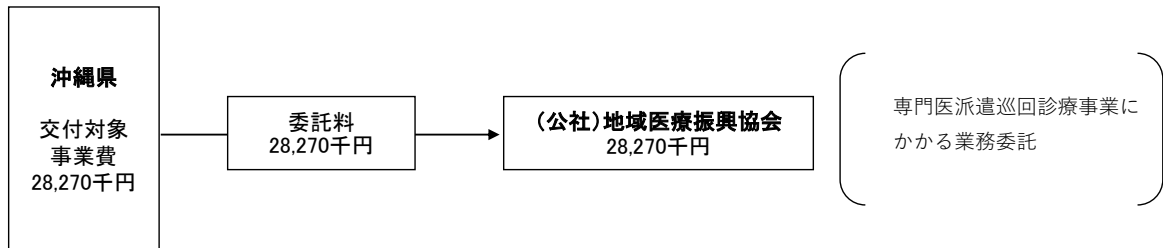
令和元年度沖縄振興特別推進交付金事業（県分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	64	専門医派遣巡回診療支援事業	沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-3-(11)-イ				
担当部課名	保健医療部医療政策課	事業実施 (予定)年度	H29 ~ R3 年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	III-9			
事業内容	離島に住む住人が、島内で専門医の診察を受診できるようにするために、離島診療所において専門医による巡回診療を実施する。							
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()							
予算額・執行額 【単位:千円】		H29年度	H29年度(繰越)	H30年度	H30年度(繰越)	R1年度		
	予算の 状況	(a) 当初予算額	38,165	-	32,001	-	34,000	
		(b) 予算現額	30,406	-	32,001	-	34,000	
		(c) 増減額(b-a)	▲ 7,759	-	0	-	0	
		(d) 前年度繰越額	-	-	-	-	-	
		A. 計(b+d)	30,406	-	32,001	-	34,000	
	B. 執行済額		27,091	-	26,032	-	28,270	
	うち交付金充当額		21,672	-	20,825	-	22,616	
	C. 次年度繰越額		0	-	0	-	0	
	執行率(%) (B/A)		89.1%	-	81.3%	-	83.1%	
予算の状況の説明		市町村及び離島診療所から要望のあった診療科の医師が確保できなかったことや、台風や新型コロナウイルスによる渡航自粛等による離島航路の欠航・減便等があったことから、計画どおりの診療が実施できなかったため、所要の経費について不用が生じた。						
活動目標 (指標) 及び達成状況	R1活動目標(指標)		達成状況					
			H28年度	H29年度	H30年度	R1年度		
	巡回診療回数		目標	110回	130回	109回	104回	
			実績	106回	92回	85回	90回	
達成状況説明	令和元年度は目標回数に向け、計画的に実施できたが、春から夏にかけて台風の襲来や海上のしけにより、定期航路が運休したことや、新型コロナウイルスによる渡航自粛により、離島航路の欠航・減便等があり、実施中止となり目標未達となった。							
成果目標 (指標) 及び進捗状況	R1成果目標(指標)		基準値 (〇〇年度)	H29年度	H30年度	R1年度	目標値 (〇〇年度)	
	離島診療所で対応が困難な専門診療科を定期的に受診できる離島数		目標	-	-	8カ所	9カ所	-
			実績	-	-	6カ所	6カ所	-
	【H29以前の成果目標】 巡回診療にかかる受診者数		目標	-	1300人	-	-	-
			実績	-	1002人	-	-	-
	進捗状況説明	専門科診療の受診機会を確保するため、派遣医師、町村及び診療所と調整を行ったが日程・受け入れ態勢等がマッチングせず、実施にいたらなかった離島が3島あった。						

推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)		改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> 各離島市町村、診療所からのニーズに応じ、医師確保に係る他の事業や派遣元病院との連携の他、近隣の中核病院の協力を得て、派遣医師の確保・実施に努めたが、天候や専門医との実施日程等、タイミングとが合致せず実施できないことがあった。 全国的に専門医不足が課題であるが、離島への巡回診療を行う医師の確保は、ますます厳しくなっており、巡回診療が滞ると離島住民に経済的・身体的に大きな負担になると考えられる。 	<ul style="list-style-type: none"> 離島診療所及び町村役場との緊密な連絡・調整により、離島診療所の現状・天候等を考慮し、専門科診療の受診機会の確保に努める。 離島住民の負担軽減・安定的な医療の確保に向け、既存の派遣元医療機関の他、医師会等の医療に携わる団体とも連携し、医師派遣に協力する医療機関の拡充を図る必要がある。
	今後の取り組み方針	
<ul style="list-style-type: none"> 派遣元医療機関、離島診療所及び町村役場等の理解・協力を得、巡回診療が必要な診療科及び時期に応じた診療科のニーズの把握に努め、離島住民・診療所の負担軽減を図り、適切に巡回診療を実施する。 専門医の確保に向け、離島診療所・町村役場の状態を把握し、既存の派遣元医療機関及び他の団体等との連携・強化を図るため、連絡会議等を活用し意見交換や協力依頼を行い、医師派遣協力機関の拡充を図る。 		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	うち交付金充当額	うち県負担金	うち市町村負担金	その他	交付対象外経費
28,270	28,270	22,616	5,654	0	0	0



資金の 使途の 流れ、 費目 ・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<ul style="list-style-type: none"> ○委託業者は、へき地医療の充実を図ることを目的に設立された公益法人である。 ○医療機関の運営や医師確保についての長年に渡る実績があり、本事業の実施に必要な実績・ノウハウ・ネットワークを有していることから、受託者として適当である。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

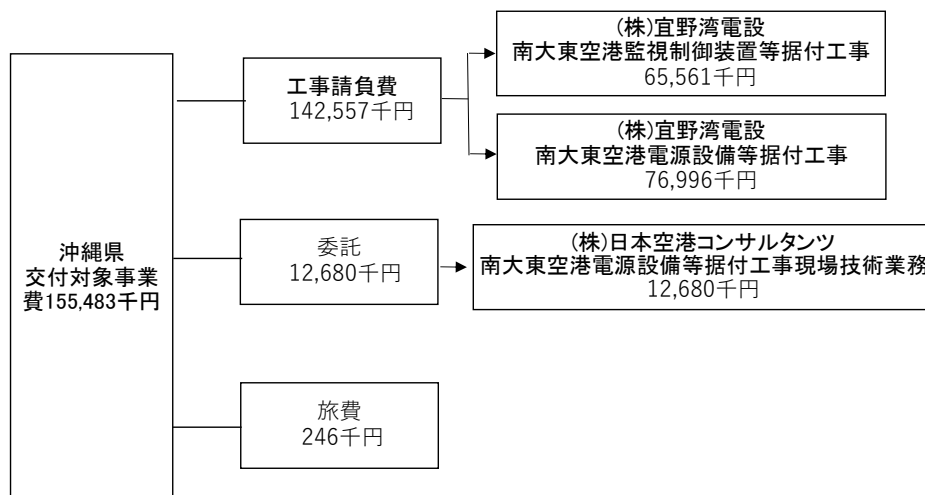
令和元年度沖縄振興特別推進交付金事業（県分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	217	南北大東空港夜間照明整備事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(11)-イ		
担当部課名	土木建築部 空港課	事業実施(予定)年度	H26 ~ R1 年度	沖縄振興基本方針該当箇所	生活環境基盤の整備及び教育・医療・福祉における住民サービスの向上 Ⅲ-4		
事業内容	救急搬送における自衛隊機の受入体制の迅速化を図るため、南大東空港において、急患搬送を実施する航空機が夜間着陸する際に必要とする照明設備を整備する。						
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(令和2年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】			H29年度	H29年度(繰越)	H30年度	H30年度(繰越)	R1年度
	予算の状況	(a) 当初予算額	97,480	0	76,552	0	90,756
		(b) 予算現額	97,480	0	76,552	0	165,455
		(c) 増減額(b-a)	0	0	0	0	74,699
		(d) 前年度繰越額	0	97,480	0	0	0
		A. 計(b+d)	97,480	97,480	76,552	0	165,455
	B. 執行済額		0	97,480	75,651	0	155,483
	うち交付金充当額		0	77,984	60,521	0	124,386
	C. 次年度繰越額		97,480	0	0	0	0
	執行率(%) (B/A)		0.0%	100.0%	98.8%	#DIV/0!	94.0%
予算の状況の説明		・平成29年度繰越予算及び平成30年度現年予算にて南大東空港電源局舎新築工事を発注し、平成30年度に工事が完了した。 ・令和元年度現年予算にて南大東空港監視制御装置等据付工事・電源設備等据付工事を発注し、令和元年度に工事が完了した。					
活動目標(指標)及び達成状況	R1活動目標(指標)		達成状況				
			H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	
	・電源設備の整備(航空灯火、電源設備、発電設備、監視制御設備の据付工事完了 1空港)	目標			工事完了 1空港	工事完了 1空港	
		実績			工事完了 1空港	工事完了 1空港	
		目標					
		実績					
	目標						
	実績						
達成状況説明	・南大東空港の照明設備等の整備工事が完了し、活動目標を達成した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R1成果目標(指標)		基準値	H29年度	H30年度	R1年度	目標値(R2年度)
	夜間着陸用照明点灯準備時間を60分から10分に短縮	目標	-				10分
		実績	-				-
	【R2成果目標】 夜間着陸用照明点灯準備時間を60分から10分に短縮		目標				10分
進捗状況説明	・事業が完了したため、供用開始後、成果目標の測定を行う。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> ・工事は令和元年度において全て完了したが、整備を行った航空灯火を使用するには、航空局の行う完成検査に合格する必要がある。 ・灯火の点灯準備時間が目標値を達成できているか把握し、不具合等が発生しないよう維持管理していく必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・予定通りの供用開始を目指す。 ・素早く灯火点灯準備を行うこと、また不具合等の発生を抑えることで、安全で迅速な急患搬送が実現できる。
今後の取り組み方針		
<ul style="list-style-type: none"> ・必要資料を準備の上、航空局による完成検査を受験・合格し供用開始を目指す。 ・供用開始後は、夜間急患搬送時の点灯準備時間の計測を行う。また、日常点検及び航空局の定期点検等を通して灯火の適切な管理・運用を行い、不具合等が生じた場合でも迅速に対応できるよう体制を整える。 		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	うち交付金充当額	うち県負担金	うち市町村負担金	その他	交付対象外経費
155,483	155,483	124,386	31,097	0	0	0



資金の用途の点検・費目評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○工事業者・委託業者は入札により決定しており、妥当であったと考えている。 ○費目・使途については事業目的に限定して必要なものに限定している。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

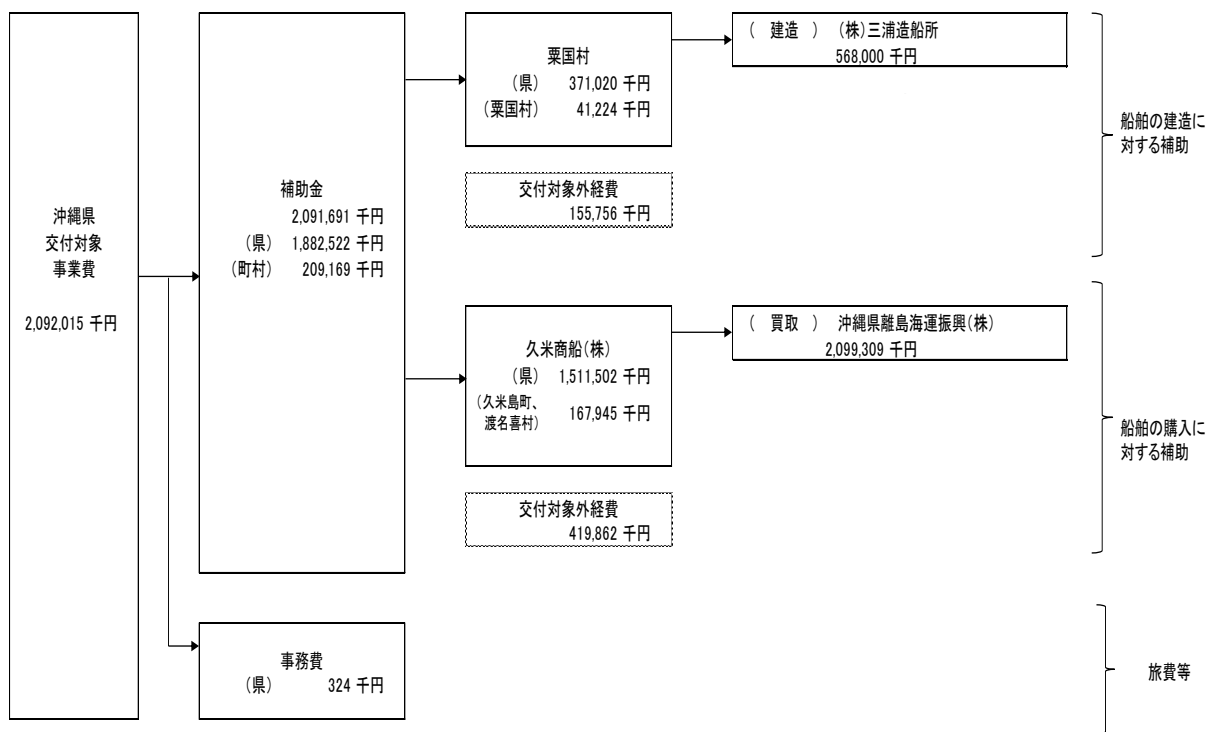
令和元年度沖縄振興特別推進交付金事業（県分）検証シート【公表用】

事業番号 ・事業名	6	離島航路運航安定化支援事業		沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-3-(11)-ウ			
担当部課名	企画部交通政策課	事業実施 (予定)年度	H24 ~ R3 年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	交通基盤の整備と 交通ネットワークの充実強化 Ⅲ-⑨			
事業内容	離島住民のライフラインである離島船舶を確保・維持することにより、離島の定住条件の整備を図るため、航路事業者が船舶を確保する際の建造費又は購入費を補助する。							
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(令和2年度、令和3年度)							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ()							
予算額・ 執行額 【単位:千円】			H29年度	H29年度(繰越)	H30年度	H30年度(繰越)	R1年度	
	予算 の 状 況	(a) 当初予算額	204,356	-	755,532	-	2,185,348	
		(b) 予算現額	204,356	-	755,532	-	2,092,795	
		(c) 増減額 (b-a)	0	-	0	-	▲ 92,553	
		(d) 前年度繰越額	-	-	-	343,845	-	
		A. 計 (b+d)	204,356	-	755,532	343,845	2,092,795	
	B. 執行済額		203,829	-	411,687	343,809	2,092,015	
	うち交付金充当額		163,063	-	329,349	275,047	1,673,612	
	C. 次年度繰越額		0	-	343,845	0	0	
	執行率 (%) (B/A)		99.7%	-	54.5%	100.0%	100.0%	
予算の状況の説明		・久米島・渡名喜航路の船舶購入補助について、航路事業者と船舶所有者の調整に時間を要し、船舶の購入時期が遅れたため、補助金額の算定基礎となる船舶簿価がこの間の減価償却で減少したことに伴い、2月補正で予算を減額した。						
活動目標 (指標) 及び達成状況	R1活動目標(指標)		達成状況					
			H28年度	H29年度	H30年度	R1年度		
	航路事業者に対する船舶建造・購入補助 2航路(粟国、久米・渡名喜)		目 標	助成2件	助成1件	助成2件	助成2件	
			実 績	助成2件	助成1件	助成2件	助成2件	
達成 状況 説明	・令和元年度は、久米島・渡名喜航路の船舶購入及び粟国航路の船舶建造(H30年度からR2年度の3カ年計画)に対して補助を行った。 ・令和元年度までに、伊平屋、与那国、伊是名、座間味、水納、久高航路の船舶建造及び南北大東、渡嘉敷、久米・渡名喜航路(2隻目含む)の船舶購入に対し補助を行い、9航路10隻の船舶更新が完了し、航路運航の安定化が図られた。							
成果目標 (指標) 及び進捗状況	R1成果目標(指標)		基準値 (24年度)	H29年度	H30年度	R1年度	目標値 (R3年度)	
	船舶建造等の支援		目 標	-	1航路	2航路	2航路	-
			実 績	-	1航路	2航路	2航路	-
	【参考指標】 船舶の確保により維持された県内離島航路 数		目 標	-	22航路	22航路	22航路	22航路
			実 績	-	22航路	22航路	22航路	-
	進 捗 状 況 説 明	・令和元年度は、久米島・渡名喜航路の船舶購入及び粟国航路の船舶建造に対して支援を実施しており、成果目標である「船舶建造等の支援2航路」を達成した。 ・船舶の確保により維持された県内離島航路数について、参考指標の目標値を達成しており、引き続き各種支援策を実施する。 ・県内離島航路数について、平成27年1月の伊良部大橋の開通により、2航路(佐良浜航路・長山航路)が廃止となっている。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>・近年の鋼材や機器類・資材・人件費等の上昇により船価が高騰しているため、総事業費が補助基本額を大幅に上回り、航路事業者の負担が大きくなっているため、現状に見合った補助単価の見直しを求める声がある。</p>	<p>・近年、資材単価や人件費の上昇等の要因により、船舶の建造費は高騰している状況にある。 離島航路を維持確保するため、造船業界を取り巻く環境変化等を踏まえ、現在の補助単価の妥当性について検証を行う必要がある。</p>
今後の取り組み方針		
<p>・近年の船舶建造費の高騰を踏まえ、離島航路を維持確保する観点から、現在の補助単価の妥当性について検証を行い、令和2年度予算に反映できるよう取り組んでいく。</p>		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	うち交付金充当額	うち県負担金	うち市町村負担金	その他	交付対象外経費
2,667,633	2,092,015	1,673,612	209,234	209,169	0	575,618



資金の流 れ、費 目	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<p>○補助事業者は、「沖縄県離島航路船舶更新支援計画」に位置づけられており、妥当であったと考えている。 ○費目・用途については、補助金交付要綱に基づき、事業目的達成の観点からも必要なものか等について、額の確定時において、支出等に関する資料により確認し、適正であった。 ○受益者負担を求めつつ県が一定の上乗せ補助を行うことで財政規模の小さい公営航路事業者や零細事業者である民営航路事業者の負担軽減を図っており、負担関係は妥当であると考えている。</p>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

令和元年度沖縄振興特別推進交付金事業（県分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	8	離島交通ヘリコプター活用支援事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(11)-ウ			
担当部課名	企画部交通政策課	事業実施(予定)年度	H29 ~ R3 年度	沖縄振興基本方針該当箇所	交通基盤の整備と交通ネットワークの充実強化 Ⅲ-9		
事業内容	離島の交通における利便性を確保するため、船舶や高速船の欠航等が発生した場合の代替交通手段となるヘリのチャーター運航に要する経費の一部を補助する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】			H29年度	H29年度(繰越)	H30年度	H30年度(繰越)	R1年度
	予算の状況	(a) 当初予算額	30,759		30,759		30,762
		(b) 予算現額	32,269		16,689		30,762
		(c) 増減額(b-a)	1,510	0	▲ 14,070	0	0
		(d) 前年度繰越額	0		0		
		A. 計(b+d)	32,269	0	16,689	0	30,762
	B. 執行済額		31,949		10,700		14,220
	うち交付金充当額		25,530		8,560		11,376
	C. 次年度繰越額				0	0	0
	執行率(%) (B/A)		99.0%	#DIV/0!	64.1%	#DIV/0!	46.2%
予算の状況の説明		運航回数が見込みより減少したことに伴い補助実績減となり、執行率は46%となった。					
活動目標(指標)及び達成状況	R1活動目標(指標)		達成状況				
			H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	
	航空路線が無い離島(又は運休している粟国路線)の4島(渡嘉敷、座間味、渡名喜、粟国)へのヘリチャーターによる年間運航回数	目標	-	-	704回	704回	
		実績	-	721回	226回	314回	
達成状況説明	運航回数が当初見込みより減少したため、年間運航回数の目標値を達成できなかった。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R1成果目標(指標)		基準値(〇〇年度)	H29年度	H30年度	R1年度	目標値(〇〇年度)
	ヘリ乗客に対して、利便性が確保されていると感じたか(80%以上)を含め、当該事業のあり方を、市町村が実施するアンケートで検証する。	目標	-		80%	80%	-
		実績	-		99%	99%	-
	進捗状況説明	4村が実施したアンケート結果において、ヘリチャーターを利用できたことについて満足と回答した利用者の割合が約99%となり、目標を達成した。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>・台風等の天候不良による船舶欠航等の場合は、事業対象の4村で同時期にヘリコプターの需要が発生し、結果として利用できない場合があり、必ずしも需要が満たされている状況ではない。</p>	<p>・利用者の利便性のさらなる向上を図るため、船舶欠航時の運航回数の増加や、運航時間の延長等の対応策について、補助事業者との調整を行っていく。</p>
今後の取り組み方針		
<p>・船舶欠航時の運航回数の増加等に対応できるよう、引き続き、補助事業者及び関係4村との連携の下、ヘリコプターの安全運航の確保や、利便性向上に向けた調整を行う。</p>		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)						
総事業費	交付対象事業費	うち交付金充当額	うち県負担金	うち市町村負担金	その他	交付対象外経費
14,220	14,220	11,376	2,844	0	0	0
<div style="display: flex; align-items: center; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 沖縄県 交付対象 事業費 14,220千円 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 補助金 14,220千円 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> エクセル航空(株) 14,220千円 </div> <div style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> (離島交通ネットワーク確保事業補助金) </div> </div>						
資金の 使途の 流れ、 点検 評価	評価	点検項目		評価に関する説明		
	○	支出先の選定方法は妥当か。		<p>○補助交付先は、那覇空港を拠点としてヘリチャーター運航事業を実施しており、目的、費目、使途について適正であった。</p> <p>○4島(渡嘉敷、座間味、粟国、渡名喜)の船舶欠航時等に関係4村と協調補助を行っているが、予算規模について一部見直す必要がある。</p>		
	△	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。				
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。				
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。				

令和元年度沖縄振興特別推進交付金事業（県分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	212	本部港立体駐車場整備事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(11)-ウ			
担当部課名	土木建築部 港湾課	事業実施(予定)年度	H28 ~ R1 年度	沖縄振興基本方針該当箇所	交通基盤の整備と交通ネットワークの充実強化 Ⅲ-11-(2)		
事業内容	本体工事を実施し、狭隘で常に満車状態である現状を解消し、フェリー利用観光客の利便性確保を図る。						
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(令和2年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】			H29年度	H29年度(繰越)	H30年度	H30年度(繰越)	R1年度
	予算の状況	(a)当初予算額	10,000	-	666,000		452,228
		(b)予算現額	5,724	-	666,000		452,228
		(c)増減額(b-a)	▲ 4,276	-	0	0	0
		(d)前年度繰越額	-	-	-	412,128	-
		A. 計(b+d)	5,724	-	666,000	412,128	452,228
	B. 執行済額		5,724	-	253,872	410,979	451,382
	うち交付金充当額		4,579	-	203,097	328,783	361,105
	C. 次年度繰越額		0	-	412,128	0	0
	執行率(%) (B/A)		100.0%	-	38.1%	99.7%	99.8%
予算の状況の説明		令和元年度に引き続き工事を実施し、令和2年1月に施設を完成した。					
活動目標(指標)及び達成状況	R1活動目標(指標)		達成状況				
			H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	
	立体駐車場本体の整備	目標			本体工事の着手	本体の整備	
		実績			本体工事の着手	本体の整備	
		目標					
		実績					
		目標					
実績							
達成状況説明	立体駐車場本体の整備を完了し、目標を達成した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R1成果目標(指標)		基準値(〇〇年度)	H29年度	H30年度	R1年度	目標値(R2年度)
	本体工事の完了	目標	-		本体工事の着手	本体工事の完了	-
		実績	-		本体工事の着手	本体工事の完了	-
		目標	-				-
		実績	-				-
	【R2成果目標】利便性が確保されたか(80%以上)を含め、アンケート調査により当該駐車場のあり方について検証する。		目標				駐車場のあり方について検証する
進捗状況説明	立体駐車場本体工事を完了し、目標を達成した。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> 鋼材需要の増加に伴い資材の調達が長期化する傾向にあることから、工場での製作状況や納品時期について定期的な確認を行った。 供用中の施設利用者へ影響が生じないように配慮しながら工事を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> 完成した施設に不具合が生じないよう、定期的に点検や補修を行う必要がある。
今後の取り組み方針		
<ul style="list-style-type: none"> 定期的な点検を実施するなど、適切な維持管理に取り組んでいく。 		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	うち交付金充当額	うち県負担金	うち市町村負担金	その他	交付対象外経費
451,382	451,382	361,105	90,277	0	0	0


```

graph LR
    A[沖縄県  
交付対象事業費  
451,382千円] --> B[工事請負費  
448,148千円]
    A --> C[委託料  
3,234千円]
    B --> D["(株)東開発・(有)マル井建設JV  
142,776千円"]
    B --> E["(株)高橋土建・(有)全勝組JV  
136,598千円"]
    B --> F["太田建設(株)・(合)イシン産業JV  
139,987千円"]
    B --> G["(株)丸政工務店  
28,787千円"]
    C --> H["(株)ワールド設計  
3,234千円"]
    D --- I["(立体駐車場本体工事)"]
    E --- J["(立体駐車場本体工事)"]
    F --- K["(立体駐車場本体工事)"]
    G --- L["(立体駐車場本体工事)"]
    H --- M["(工事監理業務)"]
    
```

資金の 使途の 流れ、 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○全ての委託業務及び工事を一般競争入札で実施しており、妥当であったと考えられる。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

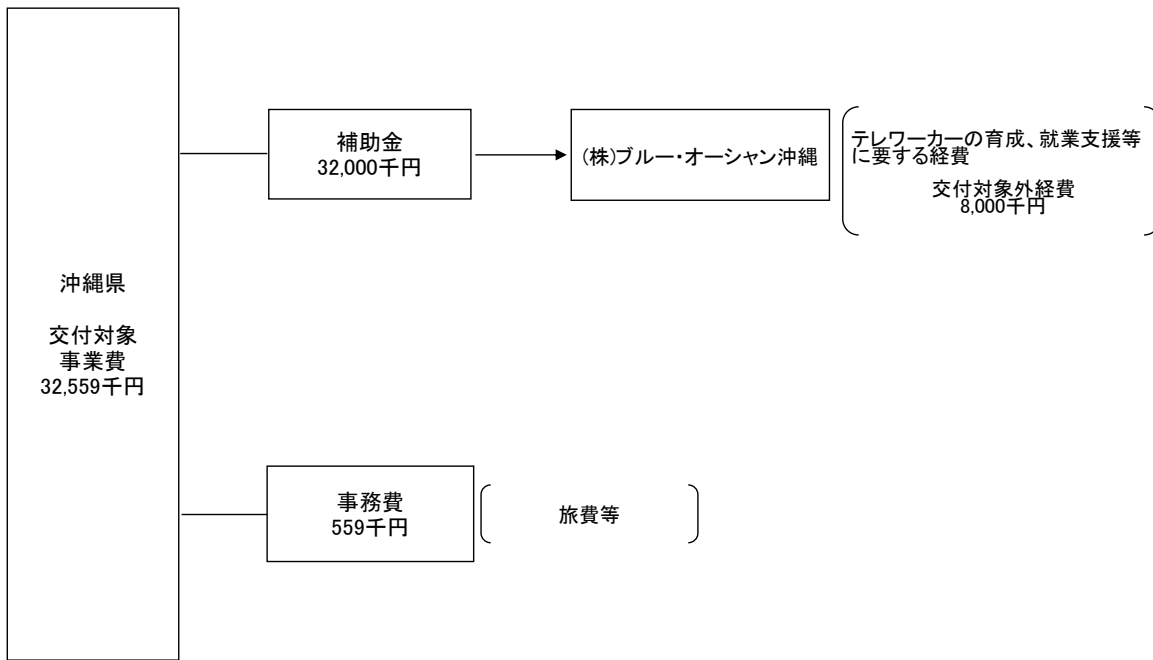
令和元年度沖縄振興特別推進交付金事業（県分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	23	離島ICT利活用促進事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(11)-エ			
担当部課名	企画部地域・離島課	事業実施(予定)年度	R1 ~ R3 年度	沖縄振興基本方針該当箇所	過疎・辺地地域の振興			
事業内容	離島地域において、島外から仕事を取り込む環境を構築し、新たな雇用を創出することで定住化の促進を図るため、テレワーカー育成のための講習、仕事斡旋、仕事完成支援等の取組に補助を行う。							
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()							
予算額・執行額 【単位:千円】			H29年度	H29年度(繰越)	H30年度	H30年度(繰越)	R1年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額						33,296
		(b) 予算現額						33,296
		(c) 増減額(b-a)	0	0	0	0	0	0
		(d) 前年度繰越額						
		A. 計(b+d)	0	0	0	0	0	33,296
	B. 執行済額							32,559
	うち交付金充当額							26,047
	C. 次年度繰越額				0	0	0	0
	執行率(%) (B/A)		#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	97.8%
予算の状況の説明		離島住民の所得向上を図るため、令和元年度から新規事業として、テレワーカーの育成等に要する経費として、補助金を計上した。執行率は97.8%であり、概ね計画的に執行できた。						
活動目標(指標)及び達成状況	R1活動目標(指標)		達成状況					
			H28年度	H29年度	H30年度	R1年度		
	テレワーク人材育成を実施		目標				2島	
			実績				3島	
達成状況説明	目標2島に対して3島を対象地域として実施しており、目標を達成している。							
成果目標(指標)及び進捗状況	R1成果目標(指標)		基準値(〇〇年度)	H29年度	H30年度	R1年度	目標値(〇〇年度)	
	テレワーカー育成人数		目標	-			30人	-
			実績	-			102人	-
	育成したテレワーカーの業務契約件数		目標	-			40件	-
			実績	-			322件	-
	進捗状況説明	テレワーカー育成人数、育成したテレワーカーの業務契約件数ともに目標を達成している。						

推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)		改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	・育成したテレワーカーについて、積極的に業務に取り組む方の割合が少ない。	・業務に取り組む割合が低い理由としては、募集している業務の単価が低いことや初めて挑戦する業務への不安などが挙げられることから、育成後のフォローも充実させる必要がある。
	今後の取り組み方針	
<p>・報酬の高い業務や請負業務(成果報酬型)だけでなく時給制の業務など選択肢を増やすため、クライアントへの営業を強化する。</p> <p>・各テレワーカーに対する面談を実施するなど、メンタルケアを充実させることでモチベーション向上を図り、業務への不安を取り除く。</p>		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	うち交付金充当額	うち県負担金	うち市町村負担金	その他	交付対象外経費
40,559	32,559	26,047	6,512	0	0	8,000



評価	点検項目	評価に関する説明
資金の流れ、費目・使途の点検評価	○ 支出先の選定方法は妥当か。	○補助事業者は公募型企画提案競争により、提案内容、実績、知識、執行体制等を勘案した上で選定しており、妥当であった。また、成果目標も達成していることから、予算規模は事業内容に見合ったものと考えている。
	○ 予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○補助事業の受益者負担を2/10としている。
	○ 受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・使途については、額の確定時において支出等に関する書類により確認し、適正であったと考えている。
	○ 費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	